

防災備品（食料品・水）を フードバンク等へ寄贈しました。

中央労働金庫（理事長 松迫 卓男／東京都千代田区）は、大規模災害など万一の事態に備え、防災用品を備蓄しています。

この度、地域社会への貢献活動として、防災用に備蓄している食料品や飲料水をフードバンク活動を行うNPOや団体に寄贈いたしました。

寄贈した食料品や飲料水は、主に食べ物に困っている方々への支援に活用されます。

〔寄贈品明細〕

種類	数量
災害備蓄用保存パン	7,006 缶
アルファ化米	13,918 袋
長期保存水（@500ml）	34,821 本



〔寄贈先〕

セカンドハーベスト・ジャパン、FUKUSHIMAいのちの水、フードバンク茨城、フードバンク北関東、フードバンクおおた、フードバンク埼玉、フードバンクちば、フードバンク山梨、栃木県労働者福祉協議会、神奈川県社会福祉協議会ほか

〈注〉フードバンクとは

食品会社の製造工程で発生する規格外品や、企業が備蓄している防災用品の更改時に、食べられるのに廃棄されるものを、寄附などにより引き取り、食べ物に困っている方々へ配布する活動です。1960年代にアメリカで始まり、日本では、2002年にセカンドハーベスト・ジャパンが活動を開始、今では全国に取組みが広がっています。

まだ食べられるのに捨てられる食べ物（食品ロス）を減らす取組みの一つとしても活用されています。

◎ 報道関係者の皆様からの本件に関する取材・お問い合わせ先

中央労働金庫 総合企画部〈CSR企画〉

TEL：03-3293-2048 E-mail：npo@chuo-rokin.or.jp